

【ユニリハ】ポジショニング R.E.D.セミナー

理論編

【ポジショニング R.E.D.】は、従来からある『居室ベッド環境でのポジショニング技術講座』ではありません。病院、施設内訓練室や在宅でのリハビリ時間 30 分～40 分程度の短時間で行うポジショニングです。

目的は長期療養生活者の関節拘縮の改善、関節可動域制限の改善、呼吸循環機能の改善です。



日時 2017年5月11日(木) 18:45～21:30

・会場 八王子市芸術文化会館いちようホール (東京都八王子市本町24番1号)

受講料 7000円

・申込URL <http://universalreha.com/>

お問い合わせ 日本ユニバーサルリハビリテーション協会

TEL/FAX 042-208-0102

E-mail otmode@jcom.home.ne.jp

URL <http://universalreha.com/>

近年、身体質量と重力を拮抗させた環境で行うポジショニングアプローチを行う事で、筋緊張が安定し、関節拘縮の変化と長時間持続する臨床研究が発表されました。低反撥マットレスを数枚重ねてポジショニングを行うことで仮説の立証に成功しました。この環境を Rehabilitation & Engineering Design -R.E.D.-とし、2010 年より研究が開始されました。

身体にかかる重力が小さくなり、収縮の必然性がなくなる筋、腱は、柔軟性を取り戻し、神経や感覚入力と相互作用していきます。変化した身体状況は自律神経系の安定（副交感神経優位）や呼吸、循環へと波及し、過緊張、低緊張など異常筋緊張の安定に結びついていきます。

講義スケジュール～研究及び臨床実績と理論編

重力をコントロールしたポジショニングを行うことで、異常筋緊張に変化が起こり、姿勢、動作、ADL に影響した研究結果と具体的な症例と共にご紹介します。

- 長期療養生活者の筋緊張の緩和と関節拘縮の変化
- 慢性閉塞性肺疾患患者の身体機能変化とバイタルの安定
- 起居動作全介助の状態から短期間で移動、移乗、ADL を獲得した症例群
- 理論の説明と応用および質疑応答